

(3) 切詰め剪定

- ・切詰め剪定は、枝の途中でカットし、枝を短く切り詰める剪定をいう。
切詰め剪定は、枝が途中で切り除かれるため、違和感を与える姿になり易いので、将来の樹形を十分に考慮し、剪定する必要がある。
- ・剪定の際、本年枝などの若い枝で定芽（樹冠をつくるのにふさわしい枝となる向きの芽）のある枝を切り詰める場合には、枝を伸ばしたい方向の定芽の頂上部で伸ばす方向に斜めに切り取る。古い枝で定芽のない場合は、斜めに切り取ることでぶつ切りの印象を与えない枝の姿をつくるようにする。
- ・この場合、切り口周辺の不定芽から多くの枝が伸びてくるため、翌年以降、枝を整理する必要がある。
- ・樹冠外に飛び出した新生枝を、樹冠の大きさが整う長さに定芽の直上の位置で剪定する。なお、切り詰める枝の太さや樹種に応じて、切り口に防腐剤や融合剤を塗布する。

